

まちづくり交付金 事後評価シート  
十王町文化観光拠点地区

平成20年12月

茨城県日立市

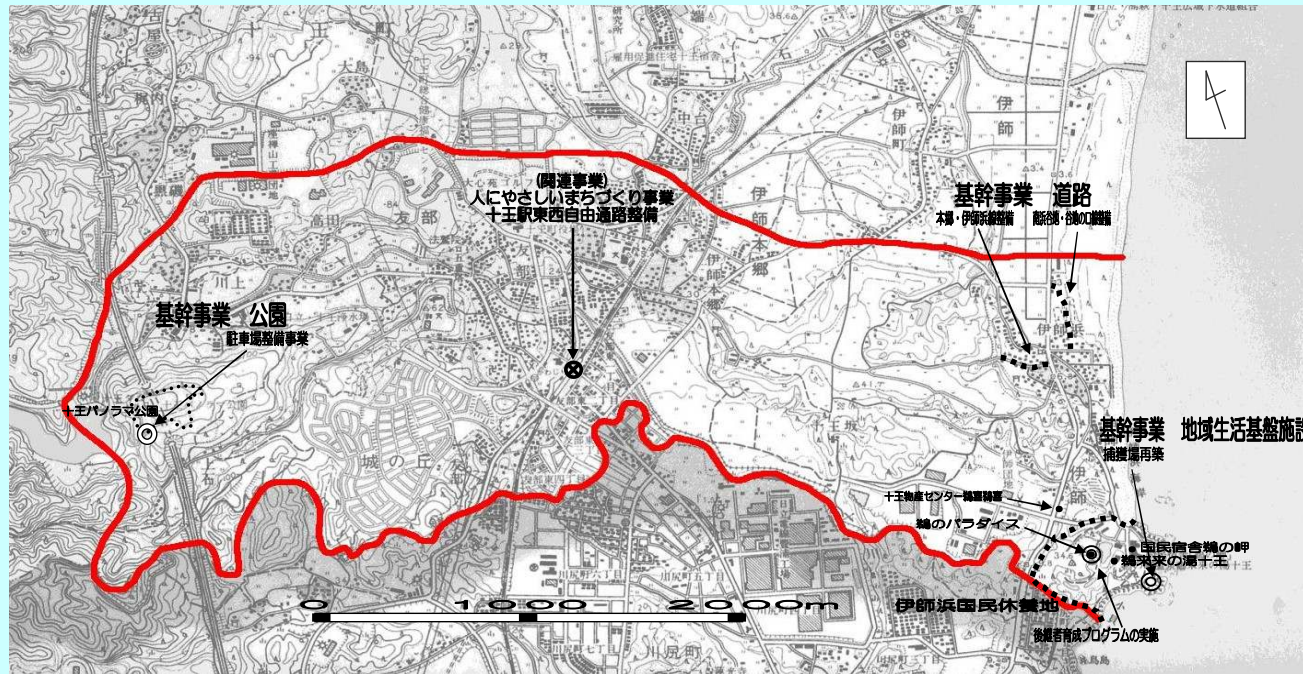
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	日立市		地区名	十王町文化観光拠点地区			面積	740ha	
交付期間	平成16年度～20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	223百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名								
			提案事業	道路(市道改良2路線)、公園(1箇所)、地域生活基盤施設(ウミウ捕獲場)								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	ウミウ捕獲後継者育成プログラム、ウミウ捕獲場PR映像装置設置								
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(情報掲示板)		ウミウの里づくりのPR			影響なし			
			提案事業	なし								
交付期間の変更		当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	観光動態調査	人	455,000	H14	500,000	H20	512,178	○	ありなし	ウミウの里づくりのPR及び隣接する国民宿舎等との相乗効果による。	平成21年4月頃
	指標2	ウミウ(捕獲技術)情報の発信	人	0	H15	1,000	H20	19,309	○	ありなし	捕獲場の公開等積極的な情報の発信や隣接する国民宿舎等との相乗効果による。	平成21年5月頃
	指標3	ウミウ捕獲継続性の確保	人	1	H15	3	H20	3	○	ありなし	鶺鴒実施自治体とも連携しながら捕獲後継者の育成に取り組み、捕獲後継者を確保できた。	
	指標4	周遊環境の整備	人	87,000	H15	100,000	H20	87,710	×	ありなし	評価値の推計に苦慮し、来場者の実測やアンケートも新たに行い推計したが目標値に達しなかった。 ● その他の数値指標1で補充	平成21年9月頃
	指標5	交通環境の整備状況	%	60.3	H15	67.0	H20	67.0	○	ありなし	地域住民及び来街者が安心して通行できる交通環境が整備された。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	十王パラマ公園駐車場整備による不満足度の減少	%	41	H15			6			駐車場の少ないと感じる人の割合が減少し、合わせて来場者の増加が見込まれる。	平成21年9月頃
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	・パラマ公園来場者及び団体利用想定者へのアンケートでは、駐車場の増設が利用意向に関係あると回答する方も多く今後の来場者の増加が期待でき、また、周辺への周遊状況ではウミウ捕獲場周辺にも立ち寄る状況が見受けられる。 ・ウミウ捕獲場見学者へのアンケートでは、捕獲場周辺に加えてパラマ公園にも立ち寄る状況が見受けられる。											
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

## 様式2-2 地区の概要

十王町文化観光拠点地区(茨城県日立市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
全国唯一の鵜飼用ウミウの供給地として、ウミウ捕獲場を再築し捕獲の継続性の確保を行うことにより、全国的な文化資産である鵜飼に不可欠なウミウの捕獲を継続可能にすると共に、ウミウの飛来や捕獲を観察する場づくりを行うことで、国民宿舎「鵜の岬」や町営温泉「鵜米来の湯十王」、ウミウの観覧飼育施設「鵜のパラダイス」など既存施設と連携し「ウミウの里づくり」を進める。 さらに、集落内道路整備により来外者と地区居住者が安心して安全に通行できる環境を整え、パノラマ公園駐車場整備をあわせて行ない、周遊環境を整えることで「ウミウの里づくり」と連携した魅力ある文化観光拠点づくりを進め、町の活性化と観光客など交流人口の増加を図る。	観光動態調査	単位:人	455,000	H14	500,000	H20	512,178	H20
	ウミウ(捕獲技術)情報の発信	単位:人	0	H15	1,000	H20	19,309	H20
	ウミウ捕獲継続性の確保	単位:人	1	H15	3	H20	3	H20
	周遊環境の整備	単位:人	87,000	H15	100,000	H20	87,710	H20
	交通環境の整備状況	単位:%	60.3	H15	67.0	H20	67.0	H20



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>十王パノラマ公園利用者等へのアンケートでは、自動販売機やおむつ交換台などの利便設備の設置や大型バスの駐車場への乗り入れ、誘導サイン類の設置などの要望が多く寄せられた。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウミウ捕獲事業への支援をはじめ、鵜飼実施自治体との連携を図りながら、ウミウの捕獲から鵜飼までを一連の文化として継続、保存、発展に努める。</li> <li>十王パノラマ公園については利便施設の設置や大型バスの乗り入れ、サイン類の設置等、利便性の向上に向けた整備・改善の検討を行う。</li> </ul>